

栽培作物別研修【イチゴ】

2019年8月8日(木)～8月9日(金) 2日間

イチゴは、その形態的・生理的特徴を考えると、太陽光型・人工光型植物工場での作目拡大という点で、注目すべき作物です。しかし、イチゴの形態的・生理的特性や繁殖法は野菜の中でもやや特異で、培養液管理や環境制御をその特性に合わせて考える必要があります。イチゴの生産技術全般を、植物的な特性、基本的な植物生理、環境や養水分の管理法などの理論を通じて学習できます。

◆ 講座の狙い

植物工場でイチゴ栽培を行うための基本の技術や背景となる理論、植物の特性を理解し、栽培管理に応用できる人材を育成する

◆ 募集要項

【受講対象】 植物工場事業に興味を持ち、真剣に事業参入を考えている生産者、個人、企業の方。初級者対象。

【受講場所】 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

【受講費用】 一般 40,000円/人（消費税、教材費等込）

植物工場研究会会員 32,000円/人（消費税、教材費等込）

【募集人数】 30名程度

【講座責任者】篠原 温(千葉大学 名誉教授)・塚越 寛(千葉大学 准教授)

【申込方法】 植物工場研究会ホームページの申込専用フォームからお申込みください。

申込専用フォーム→ <http://nplantfactory.org/schedule.html>

*ご登録のメールアドレスに、「申込受付完了」メールが自動送信されます。メールが届かない場合は問合せ先へご連絡ください。

【受講確定】 申込先着順に「内定通知」のご連絡をさせていただきます。

受講料は「内定通知」に記載の手順で振込期限内にお振込みください。

お振込み確認後に受講確定となり「受講確定」のご連絡をさせていただきます。

なお、一度納入された受講料は返還できませんので予めご了承ください。

【募集期間】 2019年6月25日(火)～8月5日(月)

* 申込状況により募集期間中に締切ることがございます。

* 開催14日前に催行についての検討をさせて頂く場合がございますので、受講を希望される方はお早目のお申込をお願い致します。



◆ 開講期間

2019年8月8日(木)～8月9日(金) 2日間 初日9:30受付開始

		8:50～10:20	10:30～12:00	昼休	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:10
8/8	木	受付：9:30～ 開講式：10:15	そもそもイチゴとは		植物生理の基礎	施設環境制御の基礎	楽しく儲けるイチゴ栽培	懇親会
8/9	金	養液栽培の基礎	トマト栽培が得意な研究員 からみたイチゴの苗管理		質疑応答	修了式		

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします。



◆ お問い合わせ

特定非営利活動法人植物工場研究会（担当：戸井）

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1 千葉大学 環境健康フィールド科学センター

E-mail : plant-factory@office.chiba-u.jp

Tel&Fax: 04-7137-8312

2019年度植物工場研修 研修No7

栽培作物別研修【イチゴ】

(8月8日～8月9日)

		I (8:50～10:20)	II (10:30～12:00)	昼休	III (13:00～14:30)	IV (14:40～16:10)	V (16:20～17:50)	18:10
8/8	木		そもそもイチゴとは		植物生理の基礎	施設環境制御の基礎	楽しく儲けるイチゴ栽培	懇親会
		受付：9:30～ 開講式：10:15～ 開講の挨拶 受講案内	・原産と来歴 ・植物としての性質 (千葉大学 塚越覚) ・イチゴ育種の現場をしよう ・植物工場とイチゴ (三菱ケミカル 石原良行)		・光合成の重要性 ・蒸散、転流、呼吸 ・栄養生理の基礎 各必須要素とその役割	・CO ₂ 、飽差制御 ・補光、電照 ・人工光型植物工場でのイチゴ 生産の可能性と課題	・栽培のポイント（手のかけ処、 手抜き処） ・栽培環境で何が優先か？ ・上手に売ろう	
		千葉大学 塚越覚	千葉大 塚越・三菱ケミカル 石原		千葉大学 塚越覚	千葉大学 丸尾達	三倉農園 三倉直己	
8/9	金	養液栽培の基礎	トマト栽培が得意な研究員からみた イチゴの苗管理		質疑応答	修了式		
		・養液栽培とは ・栽培装置 ・給液システム ・イチゴの培養液管理	・クラウン径？～理想の苗～ ・肥料は与えたら良いわけではない～ 施肥と花芽分化～ ・種子繁殖型はこんなに小さい苗 ～種子繁殖型イチゴ～ ・枯れるんだけど～病害対策～			挨拶 修了証授与 今後の予定など ～15:00(予定)		
		千葉大学 塚越覚	農研機構 磯崎真英		磯崎・丸尾・塚越	千葉大学 塚越覚		

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします

【講師プロフィール】

磯崎真英（農研機構）

農研機構野菜花き部門 上級研究員，前職の三重県農業研究所時代から植物工場拠点プロジェクトに関わり，オランダ施設園芸の視察経験も豊富な実践型研究者

三倉直己（三倉農園）

静岡県菊川市の脱サラ生産者。Dトレイの導入時から利用技術の開発に関わってきた。栽培のポイントを押さえた独自の工夫でイチゴ、メロン、トマトを生産している。

石原良行（三菱ケミカル株式会社）

とちおとめの育成者であり，また，女峰，とちおとめ，スカイベリーなどを育成した栃木県農業試験場イチゴ研究所の前所長で，栃木県をいちご王国とした立役者。現在は三菱ケミカル（アグリソリューション事業部）で，太陽光型植物工場でのイチゴ栽培技術開発に関わっている。